

Effects of the Multidisciplinary Preoperative Clinic on the Incidence of Elective Surgery Cancellation

メタデータ	言語: English 出版者: 公開日: 2023-06-19 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 梅野, 佑紀 メールアドレス: 所属:
URL	https://jair.repo.nii.ac.jp/records/2002988

授与機関名 順天堂大学

学位記番号 甲第 2673 号

Effects of the Multidisciplinary Preoperative Clinic on the Incidence of Elective Surgery Cancellation

多職種による術前外来が予定手術の中止に与える影響（後ろ向きコホート研究）

梅野 佑紀（うめの ゆき）

博士（医学）

論文審査結果の要旨

本論文は、薬剤師・歯科医・麻酔科医・看護師から構成される多職種の術前外来（POC）で、四職種が連携を取り、多彩な患者を対象に網羅的、かつ系統的に術前評価および介入を行うことにより、予定手術中止の頻度が低下したことを初めて明らかにした臨床的に意義ある論文である。

POC 開設前後にあたる 2018 年 10 月から 2019 年 3 月（pre-POC 群）、2019 年 10 月から 2020 年 3 月（post-POC 群）の間に非心臓・非産科手術が予定され POC を受診した患者を対象に、手術が中止となった理由を 8 つに分類し、予定手術中止全体の頻度、予防可能な手術中止の頻度、8 つそれぞれの理由による中止の頻度、および二群間の背景因子の差異を考慮して傾向スコアマッチング（PSM）適用後の群間比較を行った。

Pre-POC 群 4,198 人と post-POC 群 4,664 人（計 8,862 人）の予定手術中止全体の頻度には群間差はなかった（4.1% vs. 4.1%）が、予防可能な理由による手術中止の頻度は、post-POC 群（0.4%）で pre-POC 群（0.7%）よりも有意に低かった（ $p = 0.045$ ）。また、PSMにより患者背景を均質化した両群の 3,423 人ずつを比較したところ、post-POC 群の予定手術中止全体の頻度、および予防可能な手術中止の頻度（それぞれ 2.2%、0.1%）は、pre-POC 群（それぞれ 3.1%、0.6%）よりも有意に低かった（それぞれ $p = 0.036$ 、 0.008 ）。更に、⑤高リスクを理由とした中止の頻度は、post-POC 群で pre-POC 群よりも有意に低かった（0.4% vs. 0.0%, $p = 0.003$ ）。多職種による集学的 POC は予定手術中止の頻度低下に寄与していると考えられ、入院前の外来での早期の評価と介入が功を奏した可能性があることを示唆するものである。

よって、本論文は博士（医学）の学位を授与するに値するものと判定した。